

第2回（仮称）刈谷駅周辺エリアプラットフォーム全体会

NEWS LETTER

第2回(仮称)刈谷駅周辺エリアプラットフォーム全体会を開催

● 開催概要

10月30日(木)に、(仮称)刈谷駅周辺エリアプラットフォームの設立に向け第2回全体会を開催しました。はじめに、前回のふりかえりを行い、Co-Innovation Universityの今永先生よりメッセージをいただきました。その後、テーマ別座談会を行い、名古屋工業大学の秀島先生と名城大学の佐藤先生からアドバイスをいただきました。

今永 典秀 先生 (Co-Innovation University 教授・事務局長／まちづくりかりや 理事)

未来を見据えたビジョンを策定することが重要です。多様な背景を持つ人々が協力し、本気で取り組む姿勢が、困難を乗り越える推進力となります。個人や団体の目標を街のビジョンと結びつけることで、計画の実現可能性を高めます。



● テーマ別座談会

まちのあるべき姿を想像して、まちづくりを自分事として捉え、各々が、貢献できることや関心があることを共有しつつ、具体的なアクションを始めるための仲間探しを目的に座談会を行いました。座談会は30分でグループを入れ替え、下記の4つのテーマから興味や関心のあるテーマを2つ選んで議論をしました。

にぎわいの仕掛けづくり

店舗も含め、まちなかにアートがある場があり、回遊できると良いと意見がありました。また、ターゲット層を絞り、情報を発信することで、集客力を高め、にぎわいを生むことができるのではないかと意見がありました。その他に、無駄がないのは面白くないという意見がありました。



街中にアートをちりばめる

コンテンツをまとめ意味をもたせる

ターゲットを考える

情報発信も力を入れていきたい

SNSを上手く使いこなす

無駄がないのは面白くない

憩い・滞在スペースの創出

前半のグループでは、滞在スペースや面白い場所が点在し、みんなが使える場が広がっていくと良いのではないかという議論をしました。

後半のグループでは、ゆっくりできる場がないという意見が多く、駅前に自由に使える芝生広場があると人が集まるという議論をしました。



フラっと入れる場が少ない

多人数で集まれる場がない

子どもが走れる芝生広場

ゆっくり話して滞在できるカフェ

だらだら過ごせて話せる場所

使いやすい広場

移動空間の使い方・モビリティの充実

刈谷駅周辺は、デッキの整備で歩きやすくなつた一方、自動車と歩行者が交錯する場所の危険性が話題に上がりました。また、企業バスや次世代モビリティの活用を望む声のほか、歩いて楽しい仕掛けの導入や、デッキの延伸やデッキを活用したイベント開催を期待する意見もありました。



デッキにより歩きやすくなった

子どもと車の接触が危険

バス・車が横断歩道で止まることによる渋滞発生

駅と大学が遠くバスの本数が少ないため利用しづらい

刈谷ならではの次世代モビリティ

点と点が繋がっていない

安全・安心な環境の確保

前半のグループでは、課題の整理を行い、安心して歩けるまちづくり、まちの人との情報交換、リスクへの対応が必要という意見がありました。

後半のグループでは、まちの様々な情報の発信や「滞在する人を増やすことが課題の解決に繋がるのではないか」という意見がありました。



安心して歩けるまち

警察とまちが一体となってまちを守る

いかに滞在してもらうか

障がいのある方でも安心して入れるお店

まちの人との情報交換

こども110番登録が少ない

● 座談会のふりかえり

座談会の意見をもとに秀島先生から、刈谷駅周辺のまちづくりにおいて必要なことについてお話をいただき、佐藤先生からは、全体や座談会に参加して感じたことについてお話をいただきました。

秀島 栄三 先生（名古屋工業大学 教授）

まちの課題を自分が解決してしまうことも必要です。

一方で、自ら動く人を応援する場としてエリアプラットフォームがあると良いと思いました。また、刈谷らしいものを創造するのもエリアプラットフォームの目標としてあっても良いと思います。



佐藤 布武 先生（名城大学 准教授）

エリアプラットフォームは「公」と「私」の空間を使うことだと思います。そのため、地域関係者が一緒に笑い合うことができる環境をつくることが大切です。

誰と過ごしたいか小さい実験を重ねることができますと良いと思います。



● エリアプラットフォーム設立に向けて

事務局より、エリアプラットフォームの設立の目的や体制、規約、分科会の役割等について説明を行いました。規約については、後日内容の確認をお願い致します。

今後、分科会を設立し、活動内容等の検討を行います。また、社会実験を実施することにより、ビジョンを明確化していきたいと考えています。

今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



ひとことアンケート

学生さん等若い人に多く参加してもらって、意見や希望をお聞きしたい/社会実験を通じて見えてくることがあるので、可能であればではなく是非やるべきだと思います/企業側に求められているイメージの共有、期間や頻度、どうなったらゴールなのか?/多様な属性の参加者で、駅周辺の課題について意見交換でき、とても有意義な会だったと思います/大変期待しています。回数を増やしてほしい/「テーマ」のとらえ方考え方について、立場毎に多様な意見があり楽しかった/テーマ毎にまとめ、総括されると思うが、キラリと光る少數意見を大切に/建設的な意見が伺えて関係者の皆様の熱意が伝わりました/今回も様々な方とお話が出来て良かったです 等

発行・問い合わせ

特定非営利活動法人まちづくりかりや
電話:0566-45-6440
E-mail:info@machikari.com
刈谷市役所まちづくり推進課
電話:0566-62-1022
E-mail:machi@city.kariya.lg.jp